

『PCA hyper 会計シリーズ 債権・債務管理オプション』 バージョン1.0、リビジョン6.00 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SCY220315

※『PCA Client-API』や他のカスタマイズ(アドオン)プログラムをご利用のお客様は、アップデート後のカスタマイズプログラムの動作への影響について、事前にご確認ください。
動作に問題ないことを確認後、アップデートを実行してください。

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。
操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。
※ご利用のシステムにより、一部ご利用になれない機能があります。

◇リブランディング対応

・PCAクラウド PCAサブスクのリブランディングに対応しました。

◇『PCA Hub eDOC』連携対応

・弊社の新しい文書管理システムである『PCA Hub eDOC』と連携するように各処理を修正しました。

◇パスワードレス認証、認証アプリケーションを利用したワンタイムパスワード認証対応

・独自認証の認証方式に「パスワードレス認証」と、認証アプリケーションを利用した「ワンタイムパスワード認証」を追加しました。
機能の詳細、設定手順は「パスワードレス認証・ワンタイムパスワード認証について」(PDF)をご覧ください。

◇部門・科目セキュリティの強化

・連動する『PCA hyper 会計シリーズ』のデータ領域において、領域ユーザーに対して入力ロックされた部門・科目のデータの入力を制限できるようになりました。
・請求先・支払先の「会計部門」に参照・入力ロックされた部門が設定されている場合、これらの請求先・支払先を利用したデータに対しても制限が掛かるようになりました。
・機能の詳細はマニュアルをご覧ください。

◇回収種別、支払種別の追加

・回収種別、支払種別に「相殺」「その他」を指定できるようになりました。

◇「債権管理」-「債権伝票」-「債権伝票入力」、「債権管理」-「債権伝票」-「債権伝票入力(請求書明細)」

・伝票入力時に「回収予定日」「回収予定種別」を指定できるようになりました。

◇「債権管理」-「管理帳票」-「債権残高表」、「債務管理」-「管理帳票」-「債務残高表」

・債権残高表の出力項目に相殺済債権額を追加しました。
・債務残高表の出力項目に相殺済債務額を追加しました。

◇「随時」-「汎用データの作成」、「随時」-「汎用データの受入」

・「請求先-優先科目」「支払先-優先科目」を追加しました。

◇「随時」-「汎用データの受入」

・「請求先」「請求先-優先科目」「得意先」「支払先」「支払先-優先科目」「仕入先」「商品」の汎用データの受入時、汎用データ内のコードがマスターに存在していたときに、更新登録ができるようになりました。

◇「システムツール」

- ・「連動先領域の初期化」を追加しました。

以上